

事業評価票（自律改革に基づく事業）

83	救急相談センター事業（東京消防庁救急部）			
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度より都民が急な病気やけがをした際に「救急車を呼ぶべきか」「今すぐ病院で受診すべきか」迷う場合などにおいて、緊急受診の要否や適応する診療科目、応急手当等について医師の助言を受けてアドバイスを行うとともに、診療可能な医療機関情報等を提供する救急相談センター事業を行っている。相談電話件数、救急出場件数ともに増加しており、都民に対して安心を提供するとともに、真に救急車を必要とする傷病者に対して、迅速に救急隊が対応できる体制を構築する必要がある。 			
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> 救急相談件数が増加傾向にある中で、平成27年は取りきれない電話が2万7千件以上あったことから、取りきれない相談電話件数の解消等を目的に、相談員を6人増員するとともに、救急相談センター（#7119）の更なる利用促進のため広報を展開し、救急車の適正利用を促進する。 			
		拡大・充実	見直し・再構築	
		移管・終了	その他	
改革の視点		29年度見積額	28年度予算額	
都民ファースト	情報公開	税金の有効活用	598,091 千円	561,314 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 相談員の増員により、取りきれない相談電話件数が解消されることで、救急出場件数の抑制や、真に救急車を必要としている傷病者への迅速な救急出場に寄与することから、見積額のとおり計上する。 			
		拡大・充実	見直し・再構築	
		移管・終了	その他	
		29年度予算額	598,091 千円	

100	東京アメッシュによる降雨情報の配信（下水道局施設管理部）			
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 近年多発する集中豪雨への対策は、施設整備によるハード対策に加え、お客さま自らが浸水に備える取組を支援するソフト対策の充実が不可欠である。 リアルタイムで降雨情報を配信する「東京アメッシュ」ホームページでは、最新式レーダーの導入などにより、これまでより精度の高い降雨情報の配信を開始した。 今後もお客さまが使いやすい機能を追加し、運用するなど、ソフト対策を一層強化することが必要である。 			
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> 「東京アメッシュ」ホームページのスマートフォン対応化やGPSとの連携機能を追加し運用することで、お客さまがより活用しやすい環境となるよう改善し、お客さまとのパートナーシップの充実を図る取組を推進する。 予算見積に当たっては、「東京アメッシュ」のホームページ運用に必要な年間委託料を計上する。 インターネット配信サービス委託料 一式：28,300千円 			
		拡大・充実	見直し・再構築	
		移管・終了	その他	
改革の視点		29年度見積額	28年度予算額	
都民ファースト	情報公開	税金の有効活用	28,300 千円	31,700 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン対応を図るなど、より活用しやすい環境を整えることで、都民サービスの向上が期待できることから、見積額のとおり計上する。 			
		拡大・充実	見直し・再構築	
		移管・終了	その他	
		29年度予算額	28,300 千円	